

フルミスト Q&A

Q1. フルミストとはどんなワクチンですか？

鼻にスプレーする「生ワクチン」です。弱毒化したインフルエンザウイルスを鼻の中に噴霧することで、インフルエンザに対する免疫をつけます。注射のワクチンとは異なり、鼻やのどなど、インフルエンザウイルスが最初に侵入する場所の粘膜免疫も誘導することが特徴です。

Q2. 何歳から何歳まで接種できますか？

2 歳以上 19 歳未満（18 歳まで）が接種対象です。

Q3. なぜ 2 歳未満は接種できないのですか？

海外の臨床試験で、2 歳未満の小児に接種した場合、接種後の喘鳴（ゼーゼー・ヒューヒュー）や入院が増加したことが報告されています。このため、2 歳未満には使用できません。

Q4. なぜ 19 歳以上は接種できないのですか？

日本では、フルミストは 2 歳以上 19 歳未満を対象として承認されているためです。19 歳以上になると急に危険になるという意味ではありません。海外では成人にも使用されている国がありますが、日本では現在、19 歳以上への接種は承認されていません。

Q5. 何回接種しますか？

1 シーズンに 1 回です。左右の鼻に 0.1mL ずつ、合計 0.2mL を噴霧します。

年齢にかかわらず、日本では 1 シーズン 1 回です。

Q6. 痛くないですか？

注射ではありませんので、針を刺す痛みはありません。鼻の中に少量のワクチンをスプレーするだけです。注射が苦手なお子さんにとって大きなメリットがあります。

Q7. 鼻から強く吸い込む必要がありますか？

ありません。普通に呼吸をしている状態で、左右の鼻にスプレーします。

Q8. 接種後にくしゃみをしたり、液が鼻から出たりしたら、やり直しますか？

通常、再接種する必要はありません。接種直後にくしゃみをしたり、少量のワクチンが鼻から出たりしても、通常は追加接種を行いません。

Q9. 接種してから、いつ頃から効果が出ますか？

ワクチン接種後、免疫が十分につくまでには時間がかかります。接種後およそ 2 週間程度を目安に考えます。そのため、インフルエンザが本格的に流行する前に、余裕をもって接種することをおすすめします。

Q10. 効果はどのくらい続きますか？

フルミストによってつくられた免疫は永久に続くものではなく、時間とともに低下していきます。また、フルミストの効果には血液中の抗体だけでなく、鼻やのどの粘膜免疫なども関係するため、「抗体が〇か月間持続する」と単純に表すことはできません。基本的には、そのシーズンのインフルエンザ予防を目的としたワクチンです。毎シーズンの接種が推奨されます。

Q11. フルミストと注射では、どちらの方がよく効きますか？

現在のところ、どちらか一方が明らかに優れているとはいえません。日本小児科学会では、2歳以上19歳未満では、原則としてフルミストと注射のインフルエンザワクチンを同等に推奨しています。

Q12. どんな副反応がありますか？

最も多いのは鼻水・鼻づまりです。国内臨床試験では主に、鼻水・鼻づまり、咳、のどの痛み、頭痛などが報告されています。発熱、だるさなどがみられることもあります。多くは一時的な症状です。

Q13. フルミストを接種するとインフルエンザになりますか？

フルミストは弱毒化したインフルエンザウイルスを使用しています。接種後に鼻水、咳、のどの痛み、発熱など、風邪やインフルエンザに似た症状がみられることがあります。

Q14. 接種後にインフルエンザの検査をすると陽性になりますか？

陽性になる可能性があります。フルミストは生ワクチンのため、接種後しばらくは鼻の中にワクチン由来のウイルスが存在します。そのため、接種後 4週間程度 は迅速検査でワクチン由来のウイルスを検出して陽性になる可能性があります。受診する場合は「フルミストを接種したこと」と「接種した日」を医師にお伝えください。

Q15. 風邪をひいていても接種できますか？

軽い鼻水や咳だけで、全身状態が良好であれば接種できる場合があります。ただし、発熱している、体調が悪い、鼻づまりが強い、喘鳴があるなどの場合は延期することがあります。接種前に医師が診察して判断します。

Q16. 喘息があっても接種できますか？

喘息があるから必ず接種できないというわけではありません。ただし、重度の喘息がある方や、現在ゼーゼー・ヒューヒューしている方は注意が必要です。

Q17. 卵アレルギーがあっても接種できますか？

フルミストは製造工程で鶏卵を使用しています。卵アレルギーがある方は、その程度によって対応が異なるため、接種前に必ず医師へお伝えください。また、ゼラチンに対するアレルギーがある方にも注意が必要です。

Q18. 接種できない人はいますか？

2歳未満・19歳以上、明らかな発熱がある方、重い急性疾患にかかっている方、フルミストの成分でアナフィラキシーを起こしたことがある方、免疫機能に異常がある方、免疫を抑える治療を受けている方、妊娠している方などは接種できない、または注意が必要です。重度の喘息や現在喘鳴がある方、重度のゼラチンアレルギーがある方も事前にご相談ください。

Q19. 家族に免疫力が非常に低下している人がいます。接種できますか？

注意が必要です。フルミストは生ワクチンのため、接種した方から周囲の人へワクチンウイルスが伝播する可能性があります。接種後1～2週間は、重度の免疫不全の方との密接な接触をできるだけ避ける必要があります。

Q20. 最近、抗インフルエンザ薬を飲みました。接種できますか？

抗インフルエンザ薬は、フルミストに含まれる弱毒化ウイルスの増殖を抑え、ワクチンの効果に影響する可能性があります。最近、タミフル、リレンザ、イナビル、ゾフルーザなどを使用した方は、接種前に必ず医師へお伝えください。

Q21. 接種当日は普通に生活できますか？

基本的には普段通りの生活で構いません。ただし、接種後は体調の変化に注意し、激しい運動は避けてください。高熱、呼吸が苦しい、全身のじんましんなどの強い症状がみられた場合は、速やかに医療機関へご相談ください。

Q22. デュピクセントを使用しています、フルミストは接種できますか？

フルミストは生ワクチンのため、デュピクセントを使用している方は接種する時期に注意が必要です。必要な間隔が空いていない場合は、フルミストではなく、皮下注射のインフルエンザワクチンの接種をお勧めします。

- ・フルミストを先に接種した場合 → 接種後1か月以上あけてからデュピクセントを使用
- ・デュピクセントを先に使用した場合 → 接種後3か月以上あけてからフルミストを接種

参考資料

PMDA「フルミスト点鼻液 添付文書・患者向医薬品ガイド」

日本小児科学会「経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの使用に関する考え方」

日本小児科学会「インフルエンザ治療・予防指針」